在外教育施設高度グローバル人材育成拠点事業
日本文化発信拠点形成のプログラム開発「地域における日本文化発信基地として学校図書館を活用する」

1. 事業目標

(1) 日本文化を発信するイベントと関連する図書等の開放
(2) 日本語を第二言語として指導している現地校の教員のニーズに応じた支援

2. 評価方法

フォルダ番号		評価方法	詳細
定量的評価	(1)	図書貸し出し数の統計※	4/1/2019_1/30/2020 の総計 図書館開館 2/16/2018 からの推移
	(2)	外部貸し出しリスト※	International Elementary School in Portland・Oxnard Buddhist Temple Japanese Language・Long Beach Japanese School・ UCLA・Mt. SA College
定性的評価	(3)	図書館利用アンケート	日本語指導教員・文化祭参加者(5 添付資料(1))
	(4)	著作物	購入図書一覧・企画書・教材等　(5 添付資料(2))

※のデータファイルはフォルダー 2 評価方法に保存してある

3. 今年度の改善と成果

(1) 日本文化を発信するイベントと関連する図書等の開放

①テーマ別の書籍整備
今年度の主な発信テーマである「けん玉・言葉あそび・日本食・俳句・茶道・和太鼓・日本の伝統芸能（歌舞伎,能,狂言）・アニメ」に関するコーナーを設け,書籍・DVD・カルタ・紙芝居の貸し出しや調べ学習が行いやすいように整備した。

今年度購入した図書一覧は,5 添付資料/各活動のワークシート/0_3. にまとめてあるが,購入図書の分類を本校の異文化教育活動の指標である文化要素別に分けると,表 1 のように分類できる。

表 1　購入図書の文化要素

言語 8 冊	食文化 16 冊	被服文化
地形や気候	宗教や行事	環境
歴史や伝統 8 冊	科学技術	考え方 4 冊
生活習慣・遊び 17 冊	民族間対立	人権

今年度は,「歴史や伝統」以外,内容として読みやすく,イラストなどが多い文化要素の図書を収集した。

図 1:　テーマ別の整備した書籍

②日本文化発信活動と改善点

表 2 は西大和学園カリフォルニア校(以下 NAC)が 2019 年度に図書館や書籍を活用した活動の実施内容である。各活動の写真は 5. 添付資料 (2) 各活動の写真の通りである。

表 2

	実施日	実施内容	主催者等	地域の日本語教師数/参加総数
1	8/30/2019	The International School Language Immersion Summer Camp　けん玉と日本文化の学習	The Portland　International School 中澤瀬里奈教諭	1/20
2	9/15 /2019	トロント大学中島和子教授講演の際に図書貸し出し	講演主催：UCLA 図書貸し出し：NAC 運営部	41/136
3	11/8/2019	日系敬老の会集会の際にけん玉講習と図書貸し出し	集会主催：NAC 保護者会 図書貸し出し：NAC 運営部	1/16
4	12/8/2019	コミュニティーにお茶室披露する際に図書貸し出し	集会主催：裏千家淡交会 LA 協会　小川社中 図書貸し出し：NAC 運営部	2/19
5	12/18/2019 2/25/2020	中学生対象の交流活動として読み聞かせ音声つきの図書を貸し出し	NAC 図書委員会 Campbell Hall School	2/95
6	1/31/2020	日本文化祭(NAC Japanese Cultural Fair)にて文化テーマのデモンストレーションを行い,図書を貸し出し(けん玉・ことば遊び・俳句・和食・茶道・太鼓・日本の伝統芸能(狂言・墨絵))	NAC 小学部	7/30
7	研究委託期間外ではあるが,移動図書として下記の貸し出しを行った		合計	48/316
	4/8/2019	本校のオリンピックの書籍を活用した授業実践	UCLA 日本語科	
	3/1/2020	第 3 回ロサンゼルス地区高校生日本語スピーチコンテストの際に参加者に図書貸し出し	The Center for World Languages at UCLA	

③広報の改善

前年度には外部者の利用規定を日本語で作成したが,2019 年度は貸し出しを推進するために,書籍のテーマをわかりやすくイラストで分類し,英語のチラシを作成した。(図 2)

図 2：英語版の外部者利用規定と書籍テーマ(0_1)

④ニーズ調査をもとにした図書等の貸し出し

昨年の現地校教員へのアンケートで, マンガや図が多い図書や紙芝居の貸し出し要望があったため,貸し出し図書の種類を下記の様に改善した。更に, 図書だけでなく用具もセットで貸し出すことを検討した。

＜現地校指導のニーズに沿った書籍＞
- 紙芝居
- 1・2 年生向けの絵本
- バイリンガル図書のセット貸し出し
- 人気マンガシリーズ（サバイバル・ダーリンは日本人）
- バイリンガル教育の権威, 中島和子教授シリーズ
- 日本食,図鑑, 伝統芸能のコーナーを増設

＜用具＞
- けん玉セット（けん玉・DVD・書籍）
- 和太鼓セット（和太鼓・DVD・書籍）

⑤音声を付けた図書の貸し出し

本校の交流校では,日本語を第 2 外国語として指導しているが,昨年のアンケートによると,貸し出し図書の平仮名が読めても文節区切りがわからず,教員が各図書の読み聞かせをしたとのことだった。そこで今年度は,音声を付けて図書を貸し出した。

⑥外部者への貸し出し

昨年の NAC Japanese Cultural Fair では,本校の図書館利用規定から説明しなくてはならない初めての来校者に,短時間で効率よく図書を貸し出すことが難しかった。そこで今年度は,裏面に利用規定を記載した,図 3 のようなカードを準備し,効率よく図書を貸し出すように工夫した。また,図書の紛失を防ぐため,郵送での返却は行わず,返却時には必ず来校してもらうこととした。

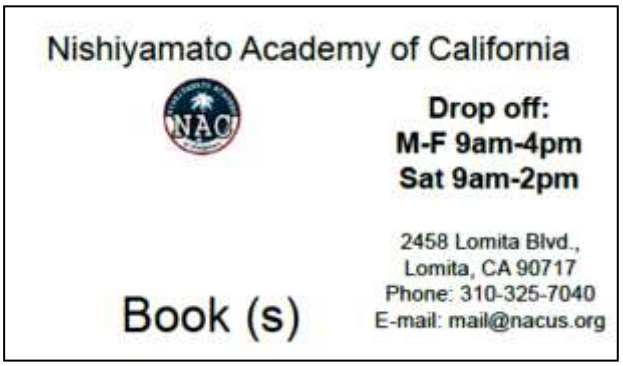


図 3 :外部貸し出し用カード

4. 成果分析

(1) 今年度の活動について

【活動 1】The International School Language Immersion Summer Camp（文責阿部）

ここアメリカにおいては,学校が夏季休業の期間に,様々なサマーキャンプが開かれることが一般的である。2019 年は,オレゴン州ポートランドにある日本語イマージョン教育を進める学校 (The Portland International School) のサマーキャンプ担当者より,日本文化（けん玉）についてのプログラムを取り扱いたいので協力して欲しいとの相談を受けた。サマーキャンプ担当者は,アメリカにおけるけん玉活動について調べているうちに,本校が 2018 年 2 月に行った『NAC Japanese Cultural Fair』でのけん玉についての取り組みのことを知り得たという。

図 4：The Portland International School サマーキャンプ

そこで,けん玉の学習を実践するにあたって必要となる「けん玉に関する図書」,「掲示用英語ポスター」「貸出用けん玉（20 本）」を『けん玉体験学習セット』としてまとめ,そのサマーキャンプに貸し出しすことにした。尚,けん玉に関する図書の選定にあたっては,図や写真が多く,日本語を第一言語としない者にも学びやすいもの,DVD が付属しているものを中心に選定した。

図 5： けん玉貸し出しセット

サマーキャンプの規定により,本校のけん玉や図書を活用している写真や児童の写真を公開することができないが,5 添付資料/各活動のワークシート 1_2（p5）に活動の様子が写真で報告されている。

アンケート結果は,5 添付資料/(1)アンケート結果/【活動 1】にまとめてあるが,休み時間にもけん玉を楽しむ子の姿が見られたことや,けん玉を買い求めにいったご家庭もあったとの報告から,体験的な活動を重視することで,参加者の日本文化への関心の高まりがみられたことがわかる。

本校には「公益社団法人日本けん玉協会」および「一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク」の有資格者の教員が在籍しているので,今後は図書の活用を推進するためにも,本校独自の『けん玉学習カリキュラム』もあわせて提案できるようになれば,ここアメリカの地で継続して日本文化に興味を持ち続ける人々を増やしていくことにつながると考えられる。

図 6： サマーキャンプ教室風景(1_2 (p5))

【活動 2】トロント大学中島和子教授講演の際に図書貸し出しを行った

UCLA National Heritage Language Recourse Center の主催にて,トロント大学中島和子教授と,早稲田大学の原田哲男教授が 9 月 15 日（日）に本校図書館を活用して,「21 世紀を生きる高度グローバル人材育成のための日本語・英語バイリンガル教育」をテーマに講演会を開催した。日本語・継承語教育関係者を対象とした午前の部の開始時に,AG5 の趣旨説明を行い,講演後に図書の貸し出しを行った。

利用者のアンケート結果は,5 添付資料/(1)アンケート結果/【活動 2】にまとめてあるが,講師中島和子教授の図書を始め,日本食をテーマに日本の風土を学べるイラストが多い図書や,米国で馴染みの深いすしをテーマにした図書,米国名作の日英バイリンガル本などを手に取る来校者が多かった。

【活動 3】日系敬老の会,集会の際にけん玉講習と図書を貸し出し（文責田野瀬）

昨今の米国現地校では,デジタル教材の普及により,図書を読む児童生徒が減ってきているため,前年代をターゲットに図書の貸し出しを試みた。日系アメリカ人のためのコミュニティ文化施設である Gardena Valley Japanese Cultural Institute（日本語学園・日本文化教室・シニア教育プログラム併設）のシニアの方々などを本校図書館に招待し,「日本の昔遊び」を通じて,幼稚園児と 1 年生と交流を深める企画を実施し,関連図書の貸出を行った。元教師のシニアの方によるデモンストレーションや,あやとり・けん玉・お手玉など,日本の昔遊びの書籍を用いて交流を行った。

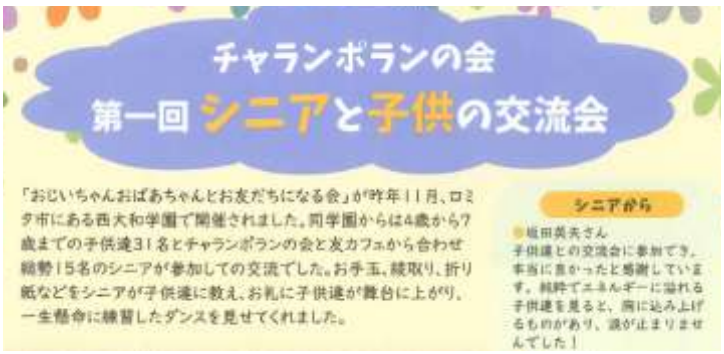


図 7： 敬老の会情報誌

【活動 4】コミュニティーにお茶室を披露する際に図書を貸し出し（文責田野瀬）

本校児童生徒らが総合日本文化である茶道を学び,その学びを地域に広めようとスタートした茶道クラブとご寄贈頂いたお茶室を,コミュニティーの代表者に披露するセレモニーを開催した。　裏千家淡交会ＬＡ協会小川社中の監修のもと,児童,生徒らによるお茶のデモンストレーションならびに解説を行い,日英両語の茶道関連の図書を貸出した。本企画には,ロミタ市議会議員をはじめ,アルムラツチ下院議員婦人,JBA（南カリフォルニア日系企業）より会長ならびに専務理事,南加県人会協議会会長らが参加し,文化情報誌の「Cultural News」に記事が掲載された。

図 8：茶道についての説明と貸し出し図書

【活動 5】中学生対象の交流活動として読み聞かせ音声つきの図書を貸し出し

交流校である Campbell Hall School (CHS)では,日本語を第 2 外国語として指導しており,昨年は日本語レベル 1 の 8 年生の授業で図書活用をしたところ,平仮名が読めても文節区切りがわからず,教員が各図書の読み聞かせをしたとのことだった。そこで今年度は,音声を付けて図書を貸し出した。図書の音読とその録音は本校の 4−6 年生からなる図書委員が特別活動の時間を活用して行った。

図書を選ぶ際には「言葉が分かりやすい本」「日本らしさが伝わる本」「聞いていて面白い本」などの観点に気を付けて選定した。図書の決定から音声録音までの間に,下記の点に留意して音読練習と録音を行った。

①大きな声ではきはきと
②聞き取りやすい速さで
③感情をこめて
④つっかえずに

音声を作成した図書：
いっすんぼうし・かぐやひめ
きつねとごんろく・ふくはうちおにもうち
ももたろう

（文責赤堀）

図 9：録音のようす
（本児童の第一言語：英語）

2 月 25 日には NAC の児童生徒 44 名が交流校 CHS に訪問し,5-9 年生約 95 名と交流活動を行った。残念なことに本校が手配したバスの故障により到着が遅れたことが影響して,今年度の図書活用の成果は,開会式の生徒代表挨拶で触れられたのみに留まった。

但し,貸し出しを行った 2 か月間の図書活用の成果については CHS 日本語教員にアンケート（5 添付資料(1)アンケート結果【活動 5】）に記されている。下記がその要点である。

・教師が学級全体に向けた指導で使用する場合は,簡易の短文で表現されている図書が活用しやすく,紙芝居は役立った
・音声が録音された図書は,生徒が各自で読書する際に非常に興味を持って読むことができた
・図書を活用することは,本物の日本語や日本文化に触れる機会を増やし,日本語学習に興味を持たせることができた

図 10：2018 年度 CHS の図書活用をまとめた写真集

・多くの図書から,自主的に読みたい図書を選べたことが,学習意欲の推進につながった
・西洋の童話とくらべると昔話のあらすじや結末が独特であり,日本語の教科書では学べない表現や色づかいなどの違いにも,触れることができた
・ウェブサイトで図書閲覧をして借りられるようになると,さらに嬉しい

昨年度も,同じ教員からアンケートを取っているが,2 年目である今年度は昨年に比べて,工夫して活用され教員の考察も深まっていることから継続した貸し出しに効果があることがわかる。また,昨年度も数か月後に図 9 のような学習の様子をまとめた写真集が送られてきたので,本報告書提出後に何らかの形で活用成果が送られてきた場合は,次年度に報告する。

【活動 6】NAC Japanese Cultural Fair

日本文化に興味づけを行い,図書活用の教育効果を提示するために,文化テーマごとにデモンストレーションや展示を行う日本文化祭を開催し,関連図書の貸し出しを行った。けん玉ペイントコンテストに 134 名の投票参加があったように,どのテーマも参加型ゲームや体験などを取り入れて紹介したことが発信方法として効果的であった。

また,今年度のけん玉活動は,「公益社団法人日本けん玉協会」「一般社団法人グローバルけん玉ネットワーク」と連携し,日本食の紹介では,全米にすし職人を送り出し数々の賞を受賞している Sushi Chef Institute, Andy Matsuda と連携を取ったことで,発信先を広げることができた。

表 3：文化発信の手法

発信方法			コンテンツ作成				
テーマ	学年	参加型の活動	教科	時数	学習内容	指導の工夫	児童生徒の変化
世界に広がるけん玉	1	Kendama Workshop けん玉パフォーマンス けん玉ペインティングコンテスト けん玉検定 10 連大皿チャレンジ ダマアート作品展	ユニット学習 生活 国語 特別活動	毎朝 10 分 30	けん玉の基礎知識・技の習得・歴史 けん玉道の級位認定 世界に広がるけん玉 けん玉の技辞典づくり（日・英） けん玉ペインティングコンテスト応募依頼の手紙とポスター作り	日本けん玉協会の認定員資格取得（けん玉道の級位認定） グローバルけん玉ネットワークの認定員資格取得（けん玉検定） 関係諸団体との連携, 協力要請(日本けん玉協会, グローバルけん玉ネットワーク, 秋元けん玉研究所, Damaartist ほそいまさこ氏)	熱中できる力(主体的, 意欲的な心)の育成 困難に対してあきらめず, 乗り越えていくたくましさの育成 仲間と共に励まし合い, 教え合い, 共感できる力の育成 日本の伝統文化への興味と関心, 誇りと愛着心の育成
	日本文化を深く体験・学習し, 外部に発信する活動を通して, 子どもたちの心の中に日本文化への誇りと愛着が芽生えた。来校者からは“私たちが子どもの頃に日本で遊んでいた遊びに, 今でも子どもたちが夢中になっている姿を見て嬉しくなった”“10 連けん玉というものを初めて目にして, ぜひチャレンジしてみたくなった”“子どもたちと交流会に参加でき, 本当に良かったと感謝している。純粋でエネルギーに溢れる子どもたちを見ると, 胸に込み上げるものがあり, 涙が止まりらなかった！”“久しぶりに小さな子どもたちに接して楽しかった。けん玉は意外と難しかった。でも子どもたちが教えてくれて, 会の終わりには私も大分できるようになった。”（ちゃらんぽらん　かわら版　3 号）との感想があった。DVD の活用で, 技と知識を増やしていくことができ, 関連図書の充実で,「調べる」活動が深まり, 互いに図書を紹介し合う様子もみられた。図書館の本を学習に活用していくことで“けん玉”の他“お手玉・こま・たこ・ビー玉“などの伝承遊びにも興味を示すようになった。現地サマースクールや日系シニアの会にて日本文化体験イベントを開催する際に, 関連図書をセットで貸し出すことができる学校図書館になってきた。						
日米の町や生活の様子のちがい	2	ちがい紹介ムービー作り まつぼっくり飾り まつぼっくりけん玉	生活 道徳 英語	35	町たんけんインタビュー（日・英語） ワークショップの説明	動画の編集 クイズ形式で説明 ワークショップ	日米の良さを実感 日米両国への愛国心 日本の小学校への関心 国籍を超えた一体感 発信力
	生活科で作成した松ぼっくり飾りの展示を通して, 日本の正月の雰囲気を紹介することができた。また, 町たんけんで見つけた地域の自然を活用して, まつぼっくりを素材にした日本ならではの飾り付けに感嘆の声を漏らす来校者もあり,“手作りでこんなにかわいく飾り付けできるなんて知らなかった。かわいい。とても面白い！”という感想があげられ, 近隣にある他校の補習校の先生方にもお褒めの言葉をいただいた。日米の違いに焦点をあてた町たんけんインタビューのムービー上映では“もっと真剣に見たいので, 映像をいただけませんか”という来校者からの感想もあった。日米の違いを他学年に教えてもらい, 実際に確かめてクイズ形式でムービー発表する活動は, 子どもたちにとって, 文化を扱う学習の第一歩として大きな意義があった。町の様子の違いに気づき, その違いを楽しみ, 関心を強め, 進んで調べる姿がみられたことは, 低学年においても, 文化を扱い外部発信する活動が可能であることを示唆している。						
言葉遊び	3	公開歌会 来場者に投票してもらうよう, 冬休みについて詠んだ短歌を掲示 言葉遊びボクシング 早口言葉・回文・詩の群読発表を含む寸劇 漢字音訓かるた 一文に同じ漢字の音読みと訓読みの言葉を入れた読み札と絵札の掲示	国語	12	日米の四季と季語について 季節ごとの句会 様々な「言葉遊び」について知る 図書やインターネットを使った調べ学習 音読みと訓読みの違い	図書館にある関連図書の活用 グループ学習のもち方や聞き手を意識した発表の仕方の指導 タヌキとキツネの 2 グループに分け, 来校者参加型のクイズ形式で発表	「言葉」全般に関する興味・関心が高まった 図書やインターネットを利用し, 必要な情報を入手できるようになった 友達と自分の意見を比べ, 共通点と相違点を発表できるようになった 友達の発表に対して助言できるようになった
	子どもたちからは“言葉遊びボクシングは来校者がたくさん笑ってくれて嬉しかった。　やっていて楽しかったけど, 勝負なので負けたのはとても悔しかった。改めて言葉って面白い！と思えた”という感想があった。学級や公開授業での公開句会にて, 自分の句が選ばれて思わぬ人から感想がもらえたり, 友達の作品の良さに気づいて感想を伝えて投票するという楽しい体験を積み重ねたことが, 日本文化祭で一般外部対象に発信する自信に結びついた。句作の励みになった。保護者や来校者からは“言葉遊びボクシングでは, 国語学習の成果がよく表れており, 大変興味深くユーモ 1 アも感じられて素晴らしかった。何より, 子どもたち自身楽しんでいてよかった。”　“詩の群読を熱心に練習したんでしょうね”等の感想があった。早口言葉・だじゃれ・アナグラム・回文・なぞなぞなど, それぞれの言葉遊びに特化した図書を多数そろえることで, インターネットでの調べ学習と並行して, 言葉遊びの面白さを教材として伝えることができた。						
世界に届け！日本食！	4	プレゼンテーション 料理コンテストの投票	国語 社会	35	日米の食の価値観 貿易	各教科の横断型 発表の場を常に設定	発信力 書く力

		料理の試食会	図工 道徳		都道府県 研究レポートを書く リーフレットを書く サンドアート	料理コンテストの実施 調理実習 地域企業 Sushi Chef Institute との連携	日本と世界とのつながりへの意識付け 達成感
	「日本食の魅力を世界に広げよう」をテーマに教科横断型学習を行った。日米の食文化を比較し,世界中の人が親しみをもてる料理の開発に取り組み,その過程を動画やプレゼンテーション,教室掲示で発信した。日米の食文化の違いについての掲示物をみて,来校者から「初めて知りました」「こんな違いがあったんですね」などの感想を得られた。実際に調理したことで,子どもたち自身も,自分たちが考えたものが形になったことで達成感を味わうことができ,来校者から「おいしい」と言う感想を得て,「日本文化を発信した」という意識が子どもたちにも強く残ったと考えられる。活動を通して,子どもたちは,自然と本を手に取るようになり,調べ学習の際には,必要な情報を取捨選択できるようになり,関連図書の紹介と体験を結びつけるのに効果的であることが分かった。						
本の世界	5	本の紹介ボード作成 ペープサート劇 「ともだちや」 本に関するクイズ 伝記の本の紹介	国語 道徳 英語 特別活動	18	本を紹介しよう 伝記を読んで自分の生き方をまとめよう 朗読をしよう	紹介方法を知る （ポスター,帯,ポップ,ボードなど） 学校図書館の利用	読書活動への関心 文章力,作文力の向上 表現の工夫 偉人への敬意
	来校者は,自分が知っている図書の紹介ボードを興味を持って読んでいた。クイズには,来校者の知らない本についての問題もあり,新しいジャンルの図書について関心を高めるきっかけになった。児童はクイズのヒントとして,本の情報を説明するなど生き生きと活動していた。児童からは「自分たちが紹介している本に興味をもってくれるのが嬉しかった」「ペープサート劇では本のおもしろさが伝わるように表現を工夫して,お客さんに褒めてもらえた。続編にも興味をもってくれたら嬉しい」との感想があげられた。今後も教科書に掲載されている物語文や説明文の図書や「この本,読もう」で推奨されている図書,和訳英訳付きの図書などを収集し,地域のかたも含め読書を推進できるとよい。						
日本の伝統芸能	6	狂言「柿山伏」の上演 あらすじを英語でモニターに映し児童は日本語で演じる あらすじを日本語でモニターに映し児童は英語で演じる 伝統芸能に関する展示 伝統芸能に関するパンフレット(落語・茶道狂言・人形浄瑠璃) 短歌・鳥獣戯画と鑑賞文・墨絵	国語 社会 道徳 特別活動	51	伝統芸能に関するパンフレット作り 「楽しみは」で始まる短歌の創作と歌会 鳥獣戯画について学び場面の鑑賞文を書く 狂言「柿山伏」に関する学習 墨絵の学習 書き初め 張り子のだるま作り 狂言「柿山伏」の日英両語の台本作りと演技	学校図書館にある関連図書の活用 伝統芸能の動画や DVD の活用 各教科の年間指導計画におけるテーマ（日本の伝統芸能）に関係する学習の位置づけを明確にし,見通しをもって教科横断的に指導	資料の取捨選択の見極め,必要な資料の活用能力が高まった 文章にまとめて発表する,自分の役割を演じるといった表現力が高まった 日本の歴史や伝統芸能に関する興味・関心が高まった。
	日本語・英語チームで上演した狂言「柿山伏」を,保護者,外部者,他学年の児童生徒など多くの人が鑑賞した。来校者から「台本や衣装,背景画などは,子どもたちが準備したのか」という質問や「難しい狂言独特の言い回しや動作をよく頑張って演じていた」との感想があった。下級生の感想文の中には「6 年生になったら自分も狂言を演じたい。今年の 6 年生のように上手にできたらいいな。」という意見もあった。墨絵や張り子のだるまをはじめとする展示物を熱心に見る来校者もいた。本校では,学校図書館や学級内にテーマごとに図書をまとめている特設コーナーがあるため,テーマに沿った調べ学習を行う際に効率よく,有効に活用することができている。日本語だけでなく同テーマの英語の図書もある程度備えているので,地域への発信の際に活用できた。						
3 年間の研究を総括して	中学部	2018 年度に実施した日系アメリカ人の歴史を学ぶ活動では,図書を調べ学習に活用すると同時に,日米文化会館,リトル東京サービスセンター,全米日系人博物館と連携して,日系人がアメリカで今の地位を確立するまでの苦悩や努力について発信した。展示のみならず,生徒が劇で役柄を演じることで心情を表現し,地域団体と連携をとることにより,生徒が団体のセレモニーに出向いてプレゼンテーションを行うなど発信先が広がった。本校の生徒の総合的な学習として振り返っても,日系人の気持ちに共感する共感力や自分の考えや思いを表現する表現力の向上がみられ,有意義であった。今後は継続して地域団体との関係を築くことが,日本文化の発信拠点としての課題であり,地域団体と連携した教育は日本人学校で学ぶ生徒達の帰国生としての資質向上にも寄与する。						

(2) 図書貸し出し推移と現地の日本語指導者のニーズ

下表からだけでは一概に分析できないが,オリンピック関連や,日本の名作等の貸し出し数が多かった。また,下記がアンケートや利用者が図書を閲覧していた際の感想である。

・簡易な日本語で書かれている図書というよりは,図解つきの日本文化についての辞典を用いて,話題や発話の機会を作りだす指導を行えた
・日本についての図書で,教師自身の日本語指導に対する使命感を高めることができた
・公立の中高等学校については,各校が採用している教科書に沿った指導と評価に時間を殆ど費やしており,図書活用の時間はあまりとれない
・私立の中高等学校については,比較的自由に計画して図書を活用した授業を計画できる
・中高等学校で Japanese1-3 レベルの生徒には,英語で解説しながら読み聞かせしないと,図書は生徒自身では読めない
・Japanese Honors3, Japanese 4 レベル生徒であれば,Book Report の宿題として読書課題に取り組ませることができる
・大学では図書を活用した授業が自由に計画できる

表 3：外部貸し出し冊数

2017 年度	3 冊
2018 年度	51 冊
2019 年度	79 冊

表 4：外部者が借りた図書の文化要素分類

言語 2 冊	食文化 3 冊	被服文化 1 冊
地形や気候 3 冊	宗教や行事 3 冊	オリンピック 32 冊
歴史や伝統 9 冊	科学技術・理科 5 冊	名作・文学 22 冊
生活習慣・遊び 7 冊	マンガ 3 冊	考え方 1 冊

図 11：好評であった購入図書の例

(3) 文化テーマ (文化要素) についての考察

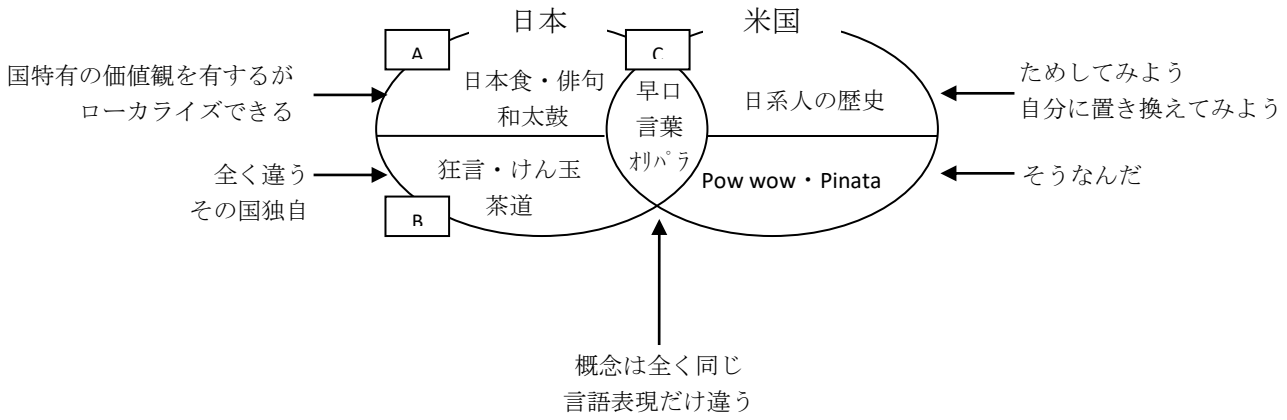
3 年間の研究を通して,収集する図書とイベントで扱う文化要素は,個々の教員が自主的に選択してきたが,扱う文化要素は,下記のように A・B・C の 3 種類に分類できることがわかる。「日本文化を発信する」という観点でいえば,A・B・C のどの種類でも同じであるが,日本独自である B の文化要素は強い印象を与えることができる。今年度はアンケート回収率が低かったため一概に結論付けることはできないが,回答（5 添付資料(1)アンケート結果/活動 6）をみると,B の文化要素が印象的であったことが読み取れる。

A の文化要素は,米国で受け入れられやすいように工夫を凝らしたり,図書等で説明をすることで,文化理解を促すことができる。Haiku や Japanese Taiko として米国の中学校や大学でも親しまれているように,専門の講師がいないと学び続けることが難しい B の文化要素に比べ,A は独自でも学び続けることができる。

C は言語の壁を取り除けば,すぐに理解できる文化要素であり,昨年度のオリンピック・パラリンピック,今年度の早口言葉や回文の言葉遊びがこれにあたる。B の活動は,当日の会場がどの時間帯も人であふれていたように,親しみやすい内容であり,今年度,英語の早口言葉と回文も同時に扱ったように,C の文化要素はバイリンガル教材としても扱いやすい。

国際理解教育の観点でいうと,A の文化要素は「異文化理解」で留まることがあると思うが,B の文化要素は「各異文化の事実を学ぶだけでなく,関係を比較して学びとっている」「異文化について学んだことを応用し,自らの身の回りで実践している」という教育目標を設定しやすいのではないか。また,異文化習得の観点でいうと,B の文化要素を習得すると日本の価値観の深層まで習得したことになるのではないか。

図 12：文化テーマ(文化要素)の分類



5. 添付資料

(1) アンケート結果

活動 1　The Portland　International School　中澤瀬里奈教諭

① Please describe your Japanese Language classes in your district. Which levels and which grades do you teach?

レベルは４段階にクラス分けされており, レベル１とレベル２（初級−中級）は先生一人に対して２０人まで, レベル３とレベル４は先生一人に対して１５人までの児童を受け持ちました。学年はキンダーから５年生までで, 私の担当したクラスはレベル４（上級）でK２−K５の児童１０人です。

②Please describe your students' academic and cultural backgrounds.

両親共に日本語が第一言語の家庭はなく, 母親が幼少期に日本から米国に移住してきた日系の児童（父親はアメリカ人）が一人と, 父親が日本人（母親は中国人）という家庭が２組いた以外はアメリカ生まれの両親の家庭で育ったアメリカ人の児童ばかりでした。数人の保護者の方と話をしましたが, 母親が日本で英語を教えたことがあったために日本語イマージョン教育を選んだ家庭や, 祖母が日本人のために日本語の教育を選んだ家庭がありました。また日本にゆかりはないけれど日本の文化に興味があったという家庭も何組かいました。サマーキャンプに参加した児童は幼稚園から同学校で教育を受けているか, ポートランドの別の地区の公立小学校で日本語のイマージョン教育を受けている子供たちでした。

③If you can ask the following questions to your students;

Q1. Have you ever been to Japan?（①No　②Yes, visited（1---3）times　③Yes , lived（）years）
Q3. What languages do you speak at home?
（英語１００％　　％　　％）
（英語　８０％　　日本語　２０％　　％）
（英語　７０％　　日本語　１０％　中国語２０％）
Q4. How many years have you studied/spoken Japanese, if any?
（K2--------２年, K3--------３年, K4---------4 年, K5---------5 年）years
If not, please describe your students' academic and cultural backgrounds in your own words;

④Which library resource was the most useful for your instruction?

けん玉とけん玉のDVD：
児童は日本のおもちゃにとても興味を持ってくれました。週末に日系のスーパーで小さなけん玉を購入した児童もいました。

⑤How did you apply resource to your lessons, and how did the resource give an impact to your lessons or students' performance?

お借りした玩具と本は, 日本語イマージョンらしい教室の装飾をするための一部としても活用することができました。図書館の本は, 毎朝その日のスケジュールを確認した後に読み聞かせをする時間を設け, 1 日に1 話日本の童話や昔話に触れる機会を持ちました。けん玉は, DVD を鑑賞して持ち方の基本から, 簡単な技を毎日少しずつ行いました。また, ホワイトボードに検定の級の表を書き, 自分のレベルを確認できるようにしました。子供たちに興味を持ってもらえるよう, Youtube のけん玉の映像なども鑑賞しました。空き時間には自由に本を読んだりけん玉で遊ぶ時間を設けました。

⑥(Q8) What cultural difference was the most striking for your students?
N/A

⑦Do you have any suggestions for our library?

Satisfaction of the resource（100 ）% and our library （）%
日本の教材はなかなか手に入らないので, また個人で購入するには部数が多くなってしまうために, このようにレンタルの形で活用出来る資料や教材があり, とても助かりました。図書館に紙芝居のような大きなサイズの本や, DVD などの貸し出しもあれば良いのではないかと思いました。

活動 2　　トロント大学中島和子教授講演の際の図書貸し出し

1. カリフォル二州日本語指導教員

① 指導している地区の日本語クラスのカリキュラムについて教えてください。何年生を指導していますか？

高校生と成人対象のレベル３という中級クラスです。

②教えている児童生徒のことについて教えてください。

Q1. 日本に行ったことがある人はどの位いますか?
(1No 2Yes, visited(1-4)times 3Yes , lived(1)years)
８人のクラスのうち,日本に留学経験のある人が１人,短期の旅行や出張を含めた渡航経験（回数は様々）のある人が４人です。

Q3. 家庭で日本語を話している人はどの位ですか?
０％

Q4. 平均して,日本語をどの位学んでいる人が多いですか?
4 年

③貸し出し図書の中でどのような本が指導の役にたちましたか?

食文化,年間行事の本。

④貸し出し図書を用いたことで指導がどのように変わりましたか?

絵や話しやすい話題の提供ができ,発話の機会を作り出すのに役立ちました。

⑤(Q8) あなたの児童生徒にとって,どのような日本文化や日本の考え方が印象に残りましたか?

少しは知っていたことを,具体的な例を通してより深い理解に繋げられたと思います。

⑥本校の図書館について何らかのご意見があれば,お聞かせください。

とてもいい教育リソースだと思います。デジタル図書館のようなものもあれば,さらに便利になると思います。
デジタル紙芝居など。

2. カリフォル二州日本語指導教員

① 指導している地区の日本語クラスのカリキュラムについて教えてください。何年生を指導していますか？

オックスナード仏教教会付属日本語学園は, 週一度の土曜日学校です。年少児童５歳クラスから順に, 桜, タンポポ, ひまわり, 紅葉, 楢木組, 大人のクラスでは, J-1（初級）, J-2（中級）, J-3 （上 級）と編成されています。

大人のクラスは, ほとんどが日本をバックグランドに持たない生徒です。年少児童のクラスは, 片親, または両親が日本語話者で, 継承日本語を学習するために来ている生徒, 日系２世, 日本語のバックグランドがない生徒で構成されています。言語力が多様なこどもたちが一緒に学ぶ機会が毎年少しずつ増えているため, 教えていくのが大変難しく感じる昨今です。この学校は, 補習校ではないため, いろいろなバッ ク グランドの生徒を受け入れ, 日本語を習いながら行事ごとに日本文化に触れてもらうことを続けています。

私のクラスは, 紅葉組です。（ひらがな, カタカナ, 小学生の漢字１年世を習ってきた生徒）現地校の学年で言うと, 大体小学生３年生から中学校２年生ぐらい, 年齢では, ９歳から１４歳の生徒を対象に, 現在は生徒８人中７人, 家庭で日本語を話す母親がいる生徒がほとんどで, 一人だけご両親共に日本語家族ですが, 滞在年数と共に教室での日本語での会話が減りました。

②教えている児童生徒のことについて教えてください。

Q1. 日本に行ったことがある人はどの位いますか?
1:No 0 student 2:Yes all 8 students visited (2~6) times,
3:Yes 3 of 8 students, lived(3~4) years when they were a baby to around Kindergarten)

Q3. 家庭で日本語を話している人はどの位ですか? 25%
8 人中 2 人（1 人は 100%日本人家庭で現地校で英語が上手になってきている子供から両親が英語を習う事もあるが, 家庭で日本語を使う事を徹底させている。もう１人はお母さんが日本語話者で, 子供 には徹底させて日本語で答えさせている。
8 人中 6 人 75%（母親から, 混合言語が許されている家庭。日本語で返事するのは内容によって, 50%以 下）

Q4. 平均して, 日本語をどの位学んでいる人が多いですか? 3~6 年
ほとんどの生徒の話しかけは, 100%日本語がほとんど, 現地校の小学校就学と共に, 日本語より徐々に英語で返事をするが, この学校に 5〜6 歳ぐらいから通っているが, 半分の 4 人は, この学校就学以前 に日本語の徹底された桜幼稚園（1〜2 年）の卒業生。

③貸し出し図書の中でどのような本が指導の役にたちましたか?
目で見ることのできる絵辞典,「茶道, 華道, 書道の日本文化の基礎がわかる絵辞典」 でした。

④貸し出し図書を用いたことで指導がどのように変わりましたか?
貸し出し図書で, 知りたい内容のわかり易い本の出会いから, 先に自分の関心を高め, 生徒に指導する使命感が持てました。目で見て分かり易い説明は, 習いながら教えるのに助かります。難しそうでも, 何とか説明できそうな, 生徒が実践してみたい気分になる紹介ができるような自信を持ちました。

⑤(Q8) あなたの児童生徒にとって, どのような日本文化や日本の考え方が印象に残りましたか?
まだ,『文化』の言葉をはっきり認識出来ている生徒がいないのでは, と思います。 家庭で, お母さんが作る日本料理の味の違いや現地校と日本語学校の違いなどで, 彼らなりに米国にはない日本の食文化などを親しんでいるようです。クラスの半数が, 空手道の生徒で, 空手の練習で礼儀などに習ってはいますが私のクラスでは, 自分達のお母さんより厳しくない, 日本のおばあちゃん先生を相手に, クラスの決まりがあるのに甘えがどこまで許されるのか挑戦しているのが感じられます。甘え文化 というのでしょうか。そんな生徒を相手に, 自分の孫を相手にするような気持ちで, 一期一会, 機会ある ごとに, 教科書にはない気が付いた大切な事を, 彼らに毎回伝えられたらと願っています。

⑥本校の図書館について何らかのご意見があれば, お聞かせください。
参考になる良い本がたくさんあると思いました。 近郊に来る機会ごとに, 本の紹介など手にとって見ることや読んでみたいと思いました。 ただ, 自宅から遠い, それだけが問題です。

活動 5　　中学生対象の交流活動として読み聞かせ音声つきの図書を貸し出し

(1) Please describe your Japanese Language classes in your district. Which levels and which grades do you teach?

We offer Japanese as a foreign language starting in 7th grade. The courses continue through AP Japanese Language and Culture. This is not a heritage program.

Level of Japanese	Grades
Japanese 1	Japanese A　7th
	Japanese B　8th
Japanese 2	9-12th
Japanese 3,3Honors,4	9-12th
AP Japanese Language and Culture	9-12th

(2) Please describe your students' academic and cultural backgrounds.

Non-Japanese background students.60% white, but we are increasing diversity. The school is college preparatory. The graduation requirement is minimum 2 years of consecutive foreign language study, preferably three.

(3) Which library resource was the most useful for your instruction?

I used the simpler, shorter stories to read aloud in class. If the language is too hard, we use the pictures. I can use simpler Japanese to talk about the story using language that the students know. The simplest picture books are the most useful. The kamishibai was also wonderful. This year, your students included their own audio version and this was fun to listen to with the pictures.

Also, the bilingual books are also nice to use to let the students explore on their own. For example, in this collection, there were books about Japanese seasonal events that students found very interesting.

(4) How did you apply the resource to your lessons, and how did the resource give an impact to your lessons or students' performance?

It is not really possible to measure this, but I believe that the books contribute a great deal in terms of interest and authenticity. Students are immediately drawn to picture books and it is like opening a window and letting in sunshine when the students can have the luxury of browsing from a collection of books and selecting something they want to read.

(5) What cultural difference was the most striking for your students?

For example, Japanese fairy tales have a very different plot line and message than European-origin stories. Also, the difference between textbook Japanese and the language used in stories is significant. Finally, the beauty of the artwork. The artistic styles are very different from what we find in English-based books.

(6) Do you have any suggestions for our library? Satisfaction of the resource（　）% and our library （　）%

Will there be a website for the library? It would be nice to be able to borrow a small set of books for three months at a time, for example, with the borrower paying for shipping.

(7) Free Comments

Thank you very much for lending us the books again! They enrich our experience.

活動 6　日本文化祭 (NAC Japanese Cultural Fair) 来校者のアンケート

今年度は 30 名の外部来校者があったが,そのうち 8 名から下記のようなアンケートの回答が得られた。

(1)あなたは日本語をどこで学びましたか？

日本語学校	現地高等学校	家庭	日本語学習体験なし	日本に居住	日本語の級を保持
2	1	4	4	5	0

(2)本日の文化祭を通して日本について新たに知ったことは何ですか？

けん玉の技	けん玉の展示	まつぼっくりけん玉	日米町の違い	日米言葉遊び	日本の特産物	日本食の価値	日本の名作	狂言	墨絵	和太鼓	茶道
2	1	2	3	2	1	4	1	2	2	5	6

(3)今後参加してみたいイベントは何ですか？

今回のような文化紹介	東京オリンピック	言語習得に関する講演	日本語指導の教室
8	5	0	0

(4)記述回答

Q: What Cultural difference was the most striking?
A:　How much people interact with one another and say thank you whom most people wouldn’t.
A: Honoring long tradition of Japan
Q: What activities or conferences are you interested in to find out more about Japan?
A: More Japanese tea ceremonies and food dishes and etiquette.
Q: Do you have any suggestions to our book collections?
A: Story books about important or old historic events and true stories.
A: More picture books.

(5)主な来校者の所属(5 添付資料/活動に活用したワークシート 6_4)

日系団体	Japanese Chamber of Commerce of SC	現地企業	Mallen Law Office
	Japanese Prefectural Association of SC		Sushi Chef Institute
	SC Ishikawa Kenjinkai		Tomo Cafe
	Urasenke Tankokai LA Association		Japan Film Festival
	Ohara Ikebana Club	教育関係	UCLA, Dept. Asian Language and Culture
	Japanese Senior Club		Asahi Gakuen Hoshuko

(2) 各活動に活用したワークシート・児童生徒作品等

ファイル名	用途	詳細
0-1	英語版の外部者利用規定と書籍テーマ	外部貸し出しの広報チラシ(図 2)
0-2	外部貸し出し用カード	効率化をはかるための外部用貸し出しカード (図 3)
0-3	今年度購入した図書一覧	
0-4	図書貸し出しアンケート雛形英語	外部者へのアンケート英語版
0-5	図書貸し出しアンケート雛形日本語	外部者へのアンケート日本語語版
1-1	International School Language Immersion Summer Camp	ポートランド日本語イマージョン校サマーキャンプの要綱
1-2	上記アンケート原本	
4-1	図書貸し出し読み聞かせ音声	図書委員会が作成した読み聞かせデジタル音声
6-1	日本文化祭アンケート雛形日英両語	
6-2	日本文化祭企画書	教室のアクティビティー計画
6-3	日本文化祭プログラム	
6-4	日本文化祭外部招待リスト	

(3) 各活動の写真

写真原稿はフォルダー5 添付資料/各活動の写真フォルダに JPEG で保存してある

日　　時	２０１９年　９月　１５日　（日）　　１０：００～１２：００
内　　容	トロント大学中島和子教授講演の際に図書を貸し出し

近隣約 50 名の日本語教師を対象にした講演

講演後に図書を閲覧する日本語教師

日　　時	２０１９年　１１月　８日　（金）　　３：２０～４：１０
内　　容	日系敬老の会,集会の際にけん玉講習と図書を貸し出し

日　　時	２０１９年　１２月　８日　（金）　　１０：３０～１２：００
内　　容	コミュニティーにお茶室を披露する際に図書を貸し出し

コミュニティーの方に点前の披露

6 Cultural News

Tearoom grand-opens at Japanese school in California

The only full time Japanese school in California, Nishiyamato Academy of California, presented the grand opening ceremony of "Tearoom" at its Lomita campus in southern suburb of Los Angeles on Sunday, December 8, 2019.

Nishiyamato Academy of California two weeks with instructions by Mme. Ogawa and her assistants.

At the grand opening ceremony, Ms. Natsuko Tanose, director of the Nishiyamato Academy, played a host role, and Mr. Sosuke Amaraga, graduate of the school, took a part of Hosto host.

As guests of the day, Mmes. Mari

Nisei left

The Industry League (YAL)

お茶室披きに関する地方紙の記事

日　　時	２０２０年　１月　３１日　（金）　　１：００～３：４５
内　　容	日本文化祭（NAC Japanese Cultural Fair）

けん玉教室

けん玉ペインティングコンテスト

松ぼっくりけん玉づくり

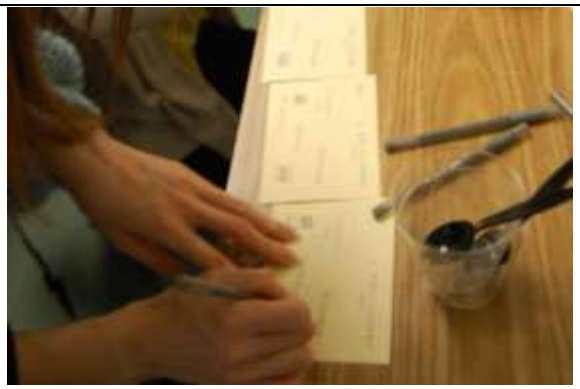
日米の町の違いビデオづくり

3 年

きつねとたぬきチームで言葉遊び

早口ことば

日本食の魅力を伝えるカップずし



児童が考えたカップずしの投票

図書紹介

図書に関するクイズ

山伏の小劇場

関連図書

茶道お点前

和太鼓パフォーマンス

日　　時	２０２０年　２月　２５日　（火）　　１０：００～１５：００
内　　容	中学生対象の交流活動として読み聞かせ音声つきの図書を貸し出し

貸し出し移動図書

交流開会式

授業に参加

茶道のデモンストレーション

太鼓のデモンストレーション

6. 2019 年度　研究委員一覧

氏　名	所属・職名	担当
小倉　佳恵	校長(平日校)・教頭(アーバイン校舎補習校)	総括(報告書・評価)
阿部　晋治	教頭(パロスバーデス校舎補習校)・第1学年担任(平)	研究員
中西　陵	第 2 学年担任(平)・第 5 学年担任（補)	研究員
白上　素子	第 3 学年担任(平補)	研究員
大濱　千枝	第 4 学年担任(平補)	研究員
赤堀　千恵	第 5 学年担任(平)・第 3 学年担任(補)	研究員
土井　美穂子	教頭(平日校)・第6学年担任(平)・総合(補)	研究員
藤本　翔太	第 7 学年担任/理科専科(平)・理科専科(補)	研究員
美間　優香	第 8 学年担任/外国語専科(平)	研究員
谷口　弘芳	教頭(平日校中学部・ロミタ校舎補習校)・数学科(平)	活動6　日本文化祭総括
Justine Imai	Manager: ELD・英検・イマージョン家庭科(平)	研究員
Madeline Fordham	ELD・英検(平)	研究員
洞口　絵美	教務(平)・第 2 学年担任(補)	活動6　日本文化祭

田野瀬　夏子	専務理事・補習校園長	広報・地域ネットワーク・茶道総括
西川　勝行	学園長・補習校校長	予算・地域ネットワーク総括
荒牧　理江	広報	広報・図書館データ
六本木　麻衣	広報	広報
嶋崎　佐智子	広報	広報
西大和学園カリフォルニア校 2458 Lomita Blvd. Lomita CA 90717　U.S.A. (310) 325-7040　mail@nacus.org		